

ROCK CHALLENGE JAPAN 運営することとは？

裏方（どうサポートしてあげるか）

参加する側

- 子供だけでなく親と先生のサポートも必要
- 先生たちのサポートが大事になってくる
- 1つの学校に補助を1人ずつつける

運営する側

- スタッフの中で本番時の役決め

お金について

運営する側のお金

- 開催する資金
- 参加する側のお金
- ロックチャレンン時に参加したとしても、費用がかかるので参加できない可能性がある

ロックチャレンジをやるにあたっての壁

- 伝えたいメッセージと歌詞が一致していなければいけないので難しそう
- 生徒たちがやりたいことをどう、舞台に取り入れていくか

個人個人どう楽しむか

限界を知る

- Be your best!(自分のベストを出させる)

やる気

- 笑顔で過ごす

メンタル面での影響

- 演技する人を緊張させない雰囲気を作る
- 行事に参加したことより夢や目標をもてる人がでてくる
- 若者ががんばっているところを見ると大人たちも力をもらえエネルギーな世の中になる

スタッフ側の運営

- ボランティアの一つの取り組み方
- 決まった規則があり、その中で運営

広告効果（ロックチャレンジを広めるために）

- 文科省側に認めてもらうために、何を強く押して説明するか
- 本番のときも放送する
- 参加校のひとにロックチャレンジのよさをPRしてもらう
- ロックチャレンジを拡大
- スポンサーを探す
- 学校だよりもに宣伝をしてもらう
- スポンサーをどう募集するか
- 多くの人にプロジェクトを知ってもらうためにテレビで宣伝する
- みんなに知ってもらえるように盛り上げる
- ロックチャレンジに参加してもらえるような宣伝
- ロックチャレンジをどのように知ってもらうか
- お客さんを呼ぶための効果的な宣伝
- 多くの人に知らせる（規模の拡大）
- Need a big sponser!!

idea&発想

idea

- 日本ではあまり普及していないので、問題点を見つけて改善する

発想

- Rock Challengeを日本式にしてみる
- 新しい発想を生み出す

犯罪撲滅

- 犯罪をすくなくする
- エイズ、たばこ、麻薬
- 人と人とがコミュニケーションをとることによっていじめ問題が減る
- 青少年の問題解決の1つの方法

運営（どうマネジメントするか）

主催者側の運営

- できるだけたくさんの学校をプロジェクトに参加してもらう
- ロックチャレンジの行われる会場の予約
- 都内（東京）以外にもロックチャレンジをひろめる
- 本番時に必要なプロの舞台スタッフをどう雇うか
- ロックチャレンジにふさわしい審査員をどう探して雇うか
- 出場する生徒をどう募集するか
- 出場校を探す

国際交流（異文化、異言語）

- 異文化交流
- 国際交流ができること
- 世界の様々な文化にふれる場を提供する